

⑧豊かなみどり・水辺や自転車を活用した 広域連携型まちづくりについて

受賞機関 大阪府・大阪市大阪都市計画局計画推進室

キーワード 広域連携によるにぎわいの創出、自転車活用によるまちづくりの機運醸成、民間企業との連携

全建賞審査委員会の評価ポイント

みどり・水辺や自転車を活用した広域連携による賑わいの創出を図るまちづくり。民間主導による広域連携型のまちづくりであり、サイクルルートの提案や情報発信、自転車活用によるまちづくり機運の醸成などに取り組んでいる点や、外部空間の活用や健康を意識した取組であることが評価された。

1. はじめに

大阪が東西二極の一極として大きく発展していくためには、府内市町村や近隣府県を含め、広域的な視点に立ち、魅力あるまちづくりに取り組むことが必要と考える。そこで、大阪府では、2050年を目標に、府域全体の都市空間創造に向けた大きな方向性を示す「ランドデザイン・大阪都市圏」に基づき、豊かなみどり・水辺や自転車を活用した広域連携によるにぎわいの創出を図り、まちづくりを推進している。

2. 事業の概要

まず、新たなサイクルルートの提案や情報発信として、サイクリングマップの作成・配布や、サイクリングステーションを設置するとともに、サイクリングマップのアプリ掲載による情報発信・利便性向上を行っている。

また、アンケート調査によるニーズ把握を行うとともに、府民に対する自転車活用によるまちづくりの機運醸成を進めている。さらに、大阪府主催のサイクリングイベントの開催に加え、市町村や地域団体が主催する自転車イベントとの連携を行うとともに、民間や行政間の連携も推進している。



サイクリングマップ（南部・北部・東部）

3. 事業の成果

本事業の実施により、日ごろのサイクリング回数の増加、行動範囲の広がり、年齢等の参加者層の広がり、立ち寄り箇所数や使用金額の増加等を確認することができた。

さらに、近畿府県、政令市、府内市町村、地域・民間団体等と先進的な取組事例等の情報交換を実施するとともに、企業版ふるさと納税や協賛品・事業協力などを通して、民間企業との連携を推進した。



信貴山サイクルロゲイニング2021



大和川サイクル月間2021

↑
←生駒山系の豊かなみどりや大和川の水辺における自転車を活用したイベント

4. おわりに

国内外から多くの人が集まる2025年大阪・関西万博に向けて、さらなる経済効果や幅広い層への浸透、にぎわいの創出につながるよう、府県・市町村・民間団体とのネットワークや庁内関係部局と連携し、他の自治体による先進的な取組みなども踏まえながら、引き続き、魅力あるまちづくりの推進に努める。